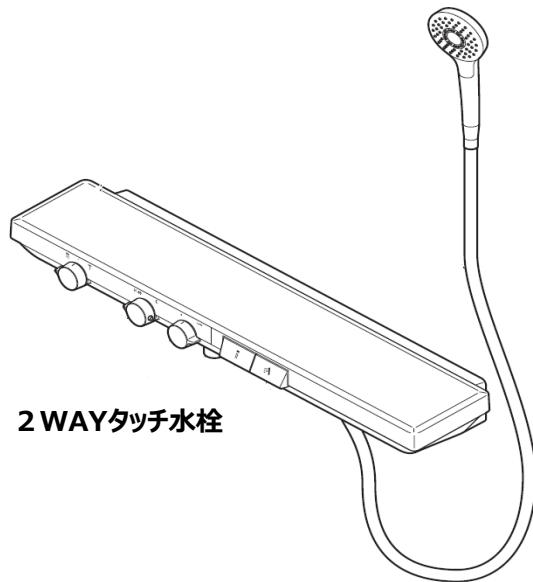


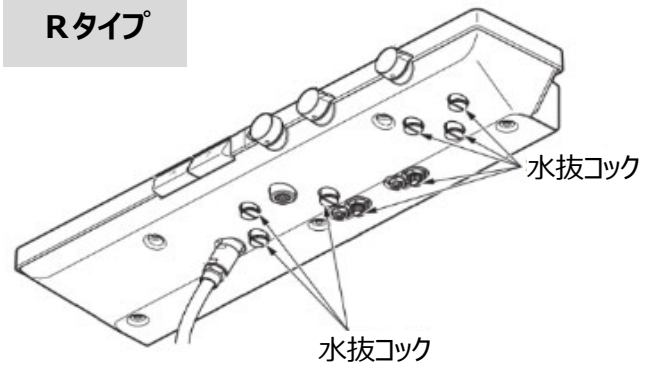
シンラ HK/WKシリーズ Cタイプ 2WAYタッチ水栓 (寒冷地用) 天井に オーバーヘッドシャワーがないタイプ

寒冷地用水栓は、底面に水抜コックがあります

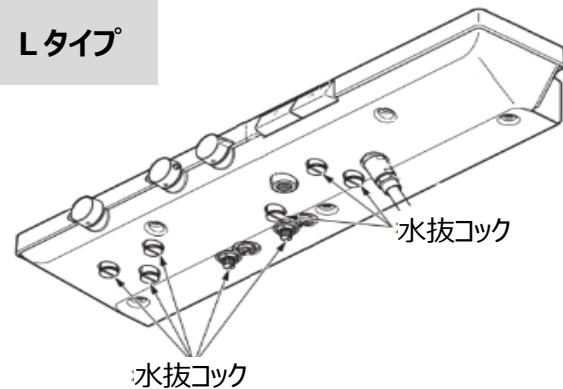


2WAYタッチ水栓

Rタイプ



Lタイプ



凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

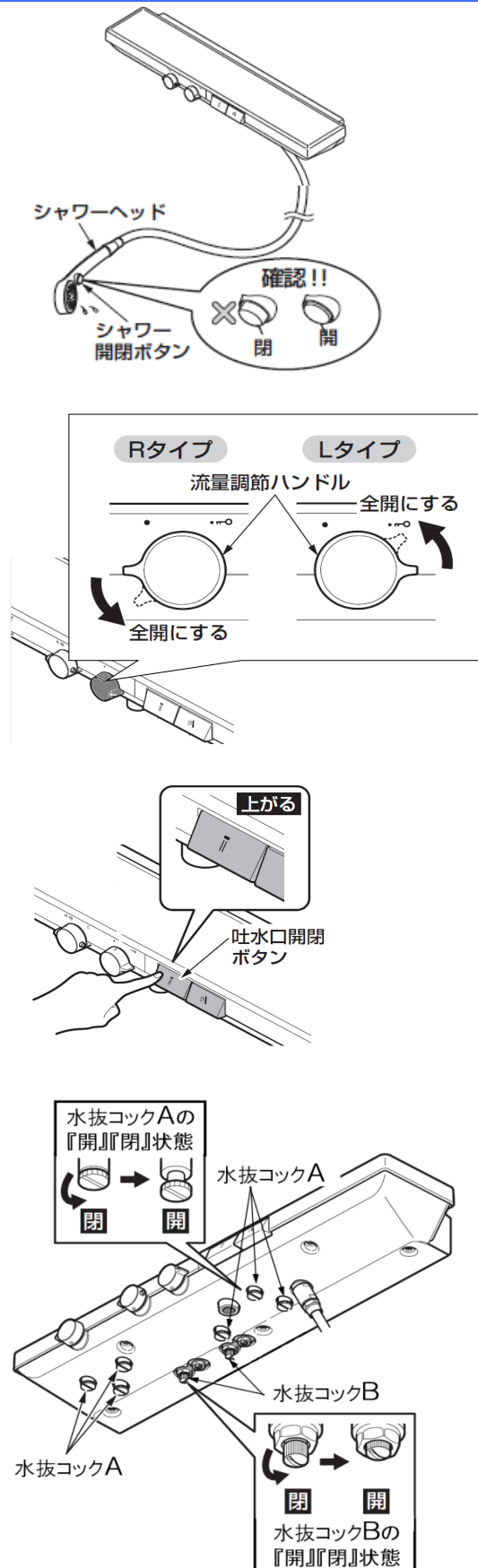
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2. 水栓の水抜き方法



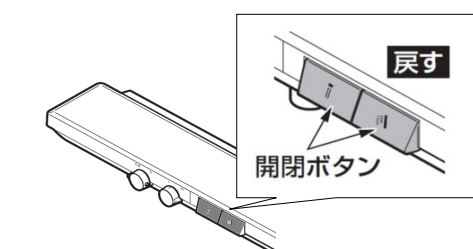
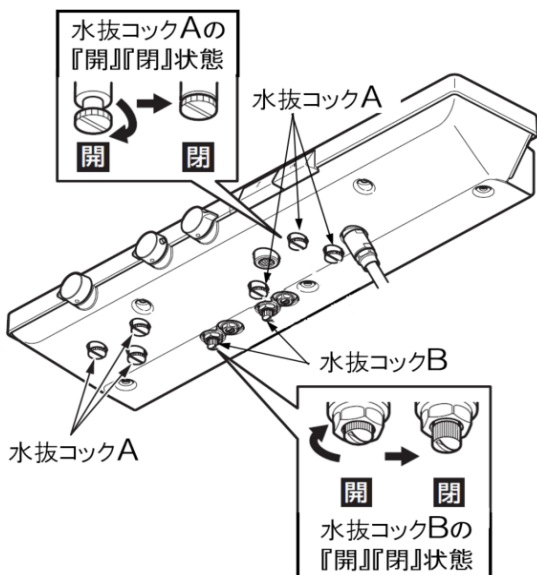
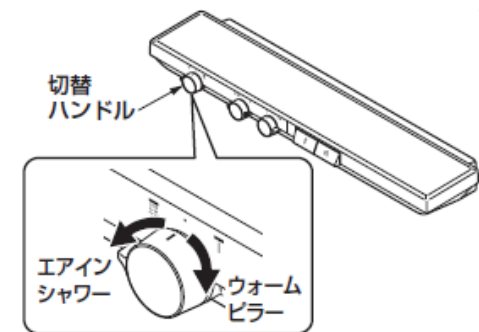
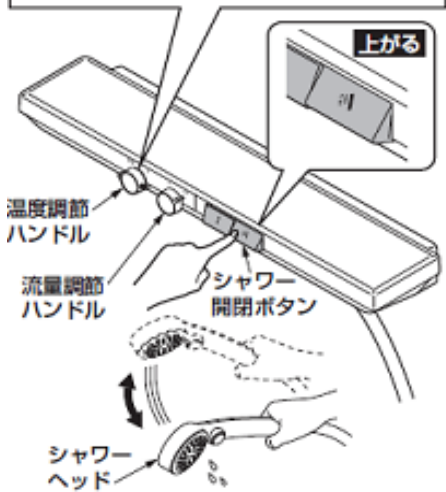
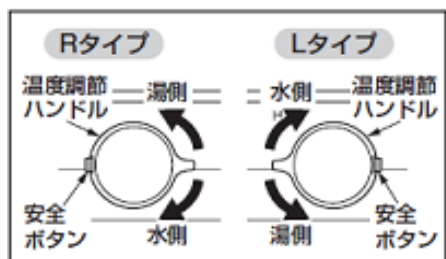
1 シャワーがクリックタイプ（シャワーヘッドにボタンあり）の場合は、シャワー開閉ボタンを押して“開”にする。

2 シャワーヘッドを床近くに置く。

3 流量調節ハンドルを反時計回りいっぱい（全開）に回す。

4 吐水口開閉ボタンを押す。
ボタンがあがります。

5 水抜コックA 6カ所、
水抜コックB 2カ所をすべて開ける。
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。
『開』になっているか、図を確認ください。
『開』になると、空気を取り入れ、
水が抜けやすくなります。



6 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇔水側と複数回切り替え、吐水口から水を抜く。
(確実に水を抜くため)

7 吐水口から水が出なくなったら、シャワー開閉ボタンを押し、ホース内の水を抜く。

8 シャワーヘッドは、下向きにし、よく振って中の水を抜いてから、床に置く。

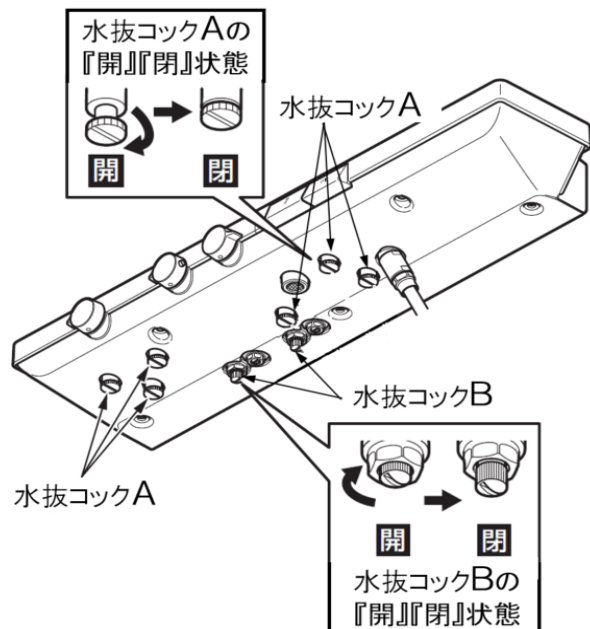
9 切替ハンドルを ウォームピラー側⇔エアインシャワー側と複数回 切り替え、オーバーヘッドシャワーの水を抜く。
天井のオーバーヘッドシャワーから落ちてくる水にご注意ください。

10 確実に水が抜けたことを確認する。
(水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります)

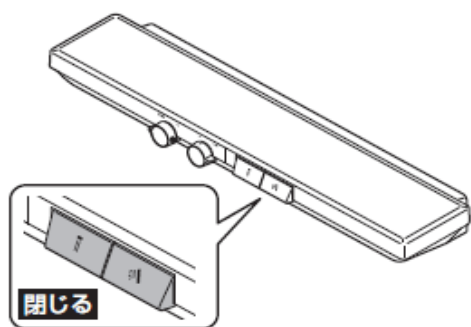
11 水抜コックA 6 カ所、水抜コックB 2 カ所をすべて閉める。
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。
『開』になっているか、図を確認ください。

12 開閉ボタンを戻す。
⇒水抜き完了です。

通水再開方法

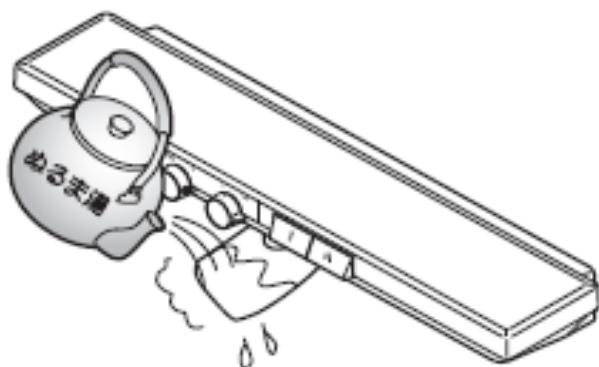


- 1 水抜コックA 6 カ所、
水抜コックB 2 カ所をすべて閉まっていることを確認する。
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。
『開』になっているか、図を確認ください。



- 2 開閉ボタンが閉じていることを確認し、通水を再開する。

水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法

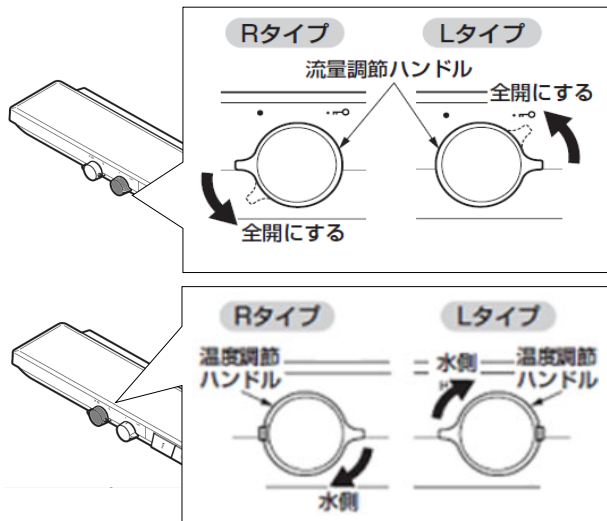


水抜きを行っても吐水口の網目や
フィルターに付着した水滴が凍り、
通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

準備するもの：洗面器、マイナスドライバー



1 流量調節ハンドルを反時計回りにいっぱいにし、全開にする。

2 温度調節ハンドルを時計回り（水側）いっぱいにする。

3 吐水口開閉ボタンを押す。

4 流量が15L/分程度になるように（洗面器一杯にするのに約15秒弱）水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

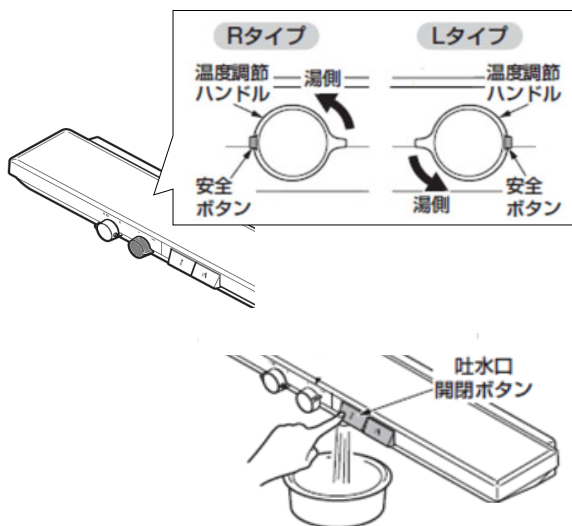
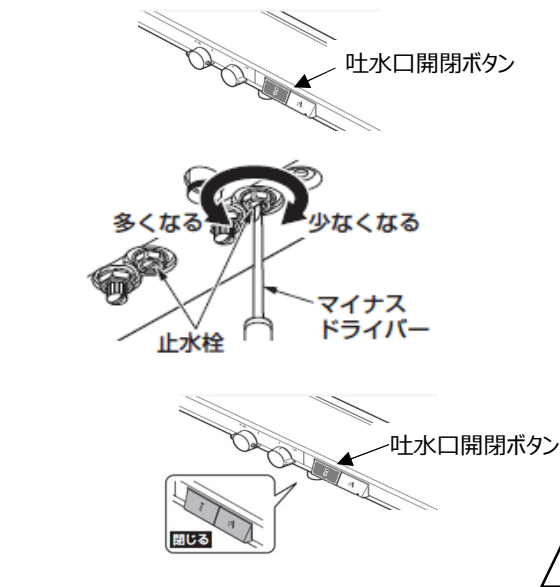
5 吐水口開閉ボタンを押して、水を止める。

湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

6 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを反時計回り（湯側）いっぱいにする。

7 吐水口開閉ボタンを押す。

8 流量が15L/分程度になるように（洗面器一杯にするのに約15秒弱）湯側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



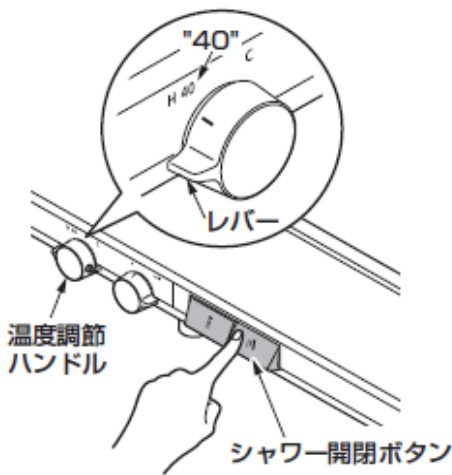
万一 凍結した場合の対応方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。

準備するもの：温度計

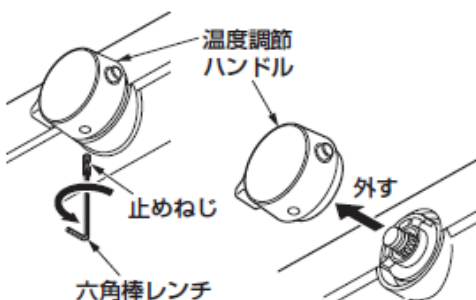
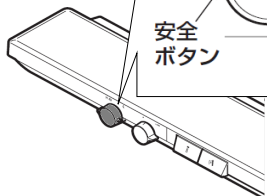
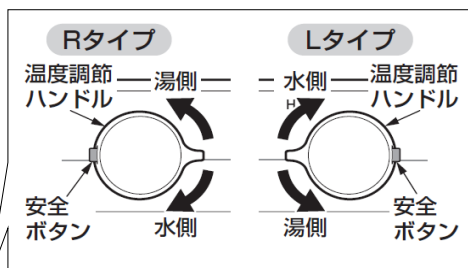
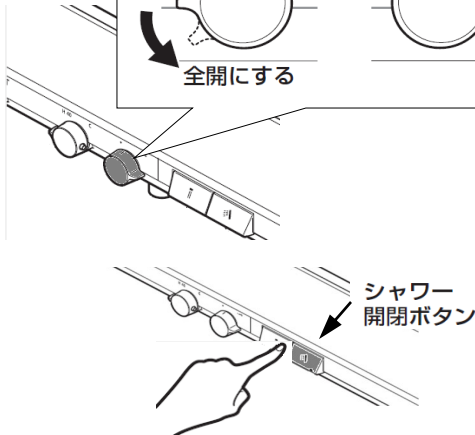
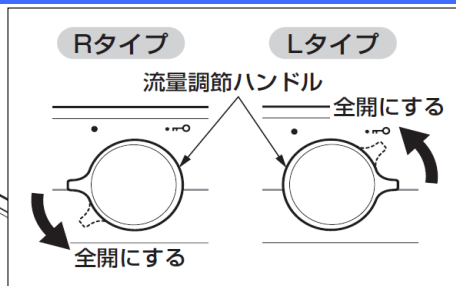
万一、凍結した場合は、
通水再開後のシャワー吐水時に温度調節ハンドルのラインを
"40" にあわせ、吐水温度と一致しているか確認してください。

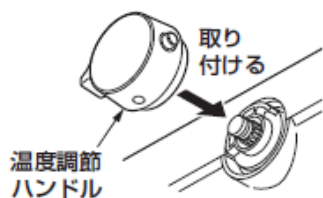


温度がずれている場合の調整方法

準備するもの：温度計、六角棒レンチ

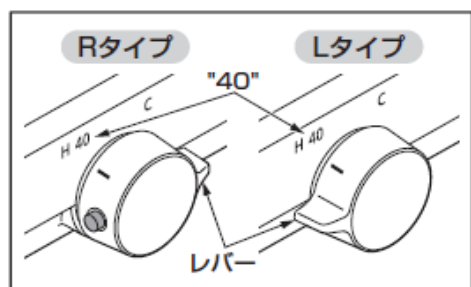
- 1 流量調節ハンドルを
反時計回りいっぱい（全開）に回す。**
- 2 シャワー開閉ボタンを押す。**
シャワーから水が出ます。
- 3 温度調節ハンドルを"40"表示の位置に関係なく
適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。**
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
- 4 温度調節ハンドルを外す。**
温度調節ハンドルが回らないように注意して
止めねじを外す。
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、
ハンドルが変形するおそれがあります。





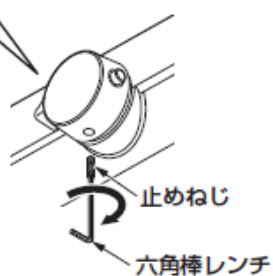
5

"40"の文字とラインをあわせて、
温度調節ハンドルをはめ込む。



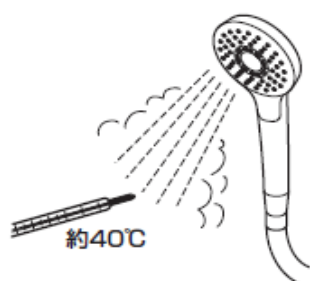
6

六角棒レンチで、
止めねじを固定してください。



7

温度調節ハンドルに
ガタツキがないことを確認する。
正常に固定されていない場合、
ハンドルが落下するおそれがあります。



8

固定後に適温（約40℃）の
湯が出ているか確認する。